



しが生物多様性取組認証制度

事業者による「生物多様性の保全」と
「自然資源の持続的な利活用」の取組を見える化



認証事業者による様々な生物多様性保全の取組

22のチェック項目の中から12の事例を紹介します。どの事例も事業の特性や地域との関わりの中で育まれてきた取組です。特別な活動に限らず、日々の仕事の中にある工夫や姿勢が、生物多様性への貢献として評価につながります。

4 取組計画

① マネジメント

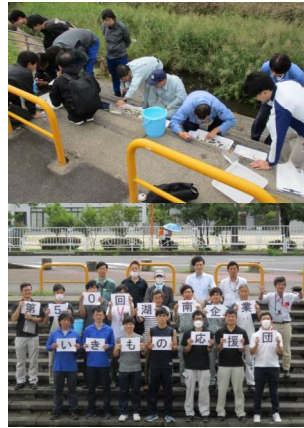
「食べることが守ること」を合言葉に、棚田で栽培されたお米や地酒、地元の食材を積極的に活用し、『里山の食彩プロジェクト』を進めています。生物と自然と人、その3つが共存できる場所が「里山」であると考え、20年以上にわたり、お客様・生産者・地元の方々と共に「環境農業」を実践し、里山保全に努めています。



京阪ホテルズ&リゾート(株) 琵琶湖ホテル
★★★ 2022年度認証

6 連携

① マネジメント



湖南地域に拠点を有する企業が行政・研究機関と連携し、「湖南企業いきもの応援団」として、地域を流れる狼川で水質や生きものの調査を定期的実施しています。取組には製造業やサービス業、金融業など様々な企業が参画しています。

郷インテックス(株)
★★★ 2018・2021・2025年度認証
株式会社ダイコーロジサービス
★★ 2021年度、★★★ 2025年度認証

12 環境配慮

② 取組・目標

近年の自然環境や生物多様性保全への高い関心によって、のり面工事においても地域の環境の保全や配慮が求められてきています。滋賀県内で発生した天然木質資源などを再利用した工法、地域の森林表土を利用した工法などの環境に配慮した工法を推進し、防災と緑化、資源の活用および生物多様性への配慮を通じて、豊かな国土を守ります。



法面プロテクト(株)
★★★ 2021・2025年度認証

13 希少種の保護

② 取組・目標

事業所内の水路において、エコトーンの創出や水路の流れをコントロールすることで淀みを減らし、生物の生息に適した環境の改善を図っています。保全の取組によって、希少種であるミナメダカやニホンイシガメを始めとした多くの生物が確認されています。



ダイハツインフィニアース(株)
★★★ 2018・2021・2025年度認証

16 琵琶湖のための森づくり

② 取組・目標

放置された竹林の整備を行い、山林の荒廃を防いでいます。広葉樹林化を図ることで、生物多様性を高める他、土砂災害の発生防止や獣害の発生抑制につながります。伐採した竹は粉末状に加工し土壌改良剤とすることで、農産物育成に活用する等、循環型の農業の実践にもつながっています。



(株)長谷工あんしんデリ
★★★ 2018・2021・2025年度認証

17 滋賀県らしさ

② 取組・目標



湖国の代表的な原風景であるヨシ原を維持するには冬のヨシ刈りが欠かせません。近年、ヨシの需要が減少しており、新たな有効活用として堆肥化を進めています。ヨシに多く含まれるケイ酸は稲の多収・品質向上に欠かせません。琵琶湖の恵みを近江米の品質向上に繋がります。

島本微生物工業(株)
★ 2021年度、★★ 2025年度認証

チェック項目No. 9

保全活動

②取組・目標

2022年度よりマキノ町知内と「しがのふるさと支え合いプロジェクト」協定を締結し、地域の活性化や人の交流を生み出すことを目的に、「魚のゆりかご水田」の取組の体験や学習を通じて普及啓発に努めています。組合員を中心とした参加者と地域の方々との間に交流が生まれるだけでなく、環境や生物多様性に配慮した農業により作られた「魚のゆりかご水田米」への理解を深め、利用することにより、持続可能な農村づくりへの取組を支援しています。



生活協同組合コープしが
★★★ 2019・2022・2025年度認証

チェック項目No. 10

環境負荷の低減

②取組・目標

自然の恵みを活かし、農薬や化学肥料に頼らない生きものに配慮した水稻栽培に取り組んでいます。鈴鹿山系の水を引き入れ、藻や微生物の力を活かしたビオトープ栽培により、圃場にはカエルやトンボ、タイコウチなど多様な生きものが息づいています。



米窯
★★ 2018年度・2021年度認証

チェック項目No. 14

外来種対策

②取組・目標

琵琶湖に生息する魚の模型を使った魚釣りゲームを通して、琵琶湖の在来魚を外来魚から守る活動の普及啓発を行っています。また、各種団体による外来魚駆除を目的とした釣りイベントの支援を行い、特定外来生物であるオオクチバスやブルーギルなどの駆除を進めています。



西武造園(株)滋賀事業所
★★★ 2020年度・2023年度認証

チェック項目No. 15

鳥獣害対策

②取組・目標

事業活動として森林保全のための、獣害対策製品（獣害柵、成木・幼木保護ネットなど）の開発をしています。平成22年から10年間取り組んだ「琵琶湖森林づくりパートナー」では、自社製品の設置や試験設置を行うなど、当社の獣害対策製品にも繋がっています。



積水樹脂(株)滋賀工場
★★★ 2018・2021・2025年度認証

チェック項目No. 19

エネルギー

②取組・目標

施設や事務所内の電気をLEDにすることで、使用電力量の削減に努めています。その他、施設内の一部では天窓等の自然光を利用することで照明の利用を押さえ、電気の使用量を常にモニタリングすることで見える化し、使いすぎを防ぐとともに、社員一人一人の意識改革にも努めています。



(株)湖南リサイクルセンター
★★ 2022・2025年度認証

チェック項目No. 21

資源価値の最大化

②取組・目標

こし餡を製餡する際に生じる小豆の外皮は、事業地内の間伐材で作られたおがくず等と混ぜ合わせ堆肥化しています。堆肥は菓子原料を栽培している梅林や柚子畑に利用され、得られた資源を無駄なく利用しています。里山から生まれた恵みが再び里山の一部となり、営みが回ります。



(株)匠寿庵
★★ 2019年度、★★★ 2020・2023年度認証

認証制度の詳細

チェック項目と認証基準に基づき、1つ星から3つ星の3段階で評価します。
また、加点項目として、県独自の施策や国際的な目標に対する10の取組について取組状況を確認し、取組数に応じて加点評価します。

<認証基準>

認証	①マネジメント 項目No.1~7	②取組・目標 項目No.8~22	(1) 生物多様性 項目No.8~17
★	2項目以上	3項目以上	1項目以上
★★	4項目以上	6項目以上	3項目以上
★★★	5項目以上	9項目以上	4項目以上

<申請対象者>

滋賀県内に本社または事業所をおく事業者および団体



※国及び地方公共団体、ならびにそれらの関係機関は対象外です。

※認証は事業者または事業所単位で行います。

<認証までの流れ>



※募集は県HPでお知らせします。

※認証期間は5年間です。認証を受けてから5年後に更新が必要となります。

認証取得によるメリット

<助成金>

産業立地戦略推進助成金

★★★3つ星で活用可能

滋賀県の産業発展を牽引する分野の設備投資を支援する助成金制度です。

詳細は県ホームページへ



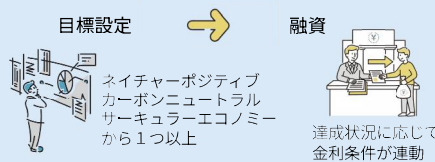
<融資制度>

自然共生への取組を評価するローン 加点項目への取組が融資に連動

対象：県内に事業所等を有する事業者
(中堅・中小企業を応援)

要件：しが生物多様取組認証制度を取得していること

特徴：ネイチャーポジティブ等の項目を指標に設定し、達成状況に応じて金利が変動する、県と金融機関の連携による融資制度です。



<基本項目>

①マネジメント			
1	方針	5	評価
2,3	推進体制	6	連携
4	取組計画	7	開示・啓発
②取組・目標			
(1)生物多様性	8,9	保全活動	
	10	環境負荷の低減	
	11,12	環境配慮	
	13	希少種の保護	
	14	外来種対策	
	15	鳥獣害対策	
	16	琵琶湖のための森づくり	
(2)気候変動	17	滋賀県らしさ	
	18	温室効果ガス排出削減	
	19	エネルギー	
(3)循環経済	20	環境配慮設計等	
	21	資源価値の最大化	
	22	自然の再生	

<加点項目>

国際基準・目標への取組や貢献	
1 情報開示	TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）提言に基づいた財務情報の開示。
2 30by30	自然共生サイトの認定及び、生物多様性保全の実施。または自然共生サイトの活動支援。
3 気候変動	SBT（温室効果ガス排出削減目標）を設定及び、SBTiからの認定。
滋賀県独自の取組への貢献	
4 希少種保護	県の保護増殖指針に基づく保護増殖事業への取組、または支援。
5 技術開発・創出	県の水草等対策技術開発支援事業に応募、取組。
6 森林づくり	琵琶湖森林づくりパートナーの取組に賛同・支援等を実施。
7 世界農業遺産	世界農業遺産(琵琶湖システム)に賛同及び、「魚のゆりかご水田プロジェクト」への取組・支援を実施。
8 MLGs	マザーレイクゴールズ（MLGs）の取組への賛同。
9 ネットゼロ	しがCO ₂ ネットゼロムーブメントに賛同、「しがCO ₂ ネットゼロみらい賞」等への応募実績。
10 循環経済	「しがプラスチックチャレンジプロジェクト」や「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」の趣旨に賛同し、参画しているか。

<情報発信>

生物多様性保全への配慮の証 ブランド価値の向上と事業のPRに

認証マークの使用

県による情報発信

HPやSNSなど

加点項目の取組数により加点されます

事業者のイメージ向上

信頼できる

環境配慮をPR

ブランド価値の向上

豊かな自然を次世代に

